令和８年２月４日

各　　位

四国紙パルプ研究協議会
(公社)愛媛県紙パルプ工業会

四国紙パルプ研究協議会
「令和７年度第２回講演会」開催のご案内

拝啓　時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当会の運営に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、令和７年度第２回講演会を下記のとおり開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、多数ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

敬　具

記

開催日時	令和８年３月４日（水）１４時００分～１６時０５分
開催場所	高知県立紙産業技術センター　研修室 吾川郡いの町波川２８７－４　TEL 088-892-2220
共　　催	高知県立紙産業技術センター
参 加 費	無料(申込必要)
申 込 先	四国紙パルプ研究協議会事務局 〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1 TEL 0896-58-2055　FAX 0896-58-6240 E－mail info@e-kami.or.jp
申込方法	別紙参加申込書を、**２月２５日(水)までにFAXまたはE-mailにて**お送りください。

〔お問い合わせ先〕 四国紙パルプ研究協議会事務局
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1
TEL ０８９６－５８－２０５５

以　上

四国紙パルプ研究協議会
「令和７年度第２回講演会」講演発表プログラム

開催日程　　令和８年３月４日(水)
開催時間　　１４時００分～１６時０５分

会長挨拶　　14:00～14:05(05)

講演１『古紙パルプを用いたプラスチック複合材』　　14:05～15:05(60)
愛媛大学　紙産業イノベーションセンター　准教授　伊藤　弘和 氏

プラスチック使用量の削減と紙産業の新たな需要創出を目的に、四国中央市の紙企業であるAIPA株式会社と愛媛大学紙産業イノベーションセンターにて取り組んでいる古紙パルプとプラスチックの複合材に関してご紹介します。パルプは繊維素材であるため、プラスチックの補強効果が期待できます。しかしながら、この両者は密着性が低く、さらにパルプはかさ高いため、プラスチックへの均一分散困難であるという課題点があります。

これら課題に対し、素材技術と生産技術を組み合わせることで、高い補強効果を有した複合材料の製品化を実現しました。本講演では、これら技術紹介だけでなく、開発の苦労話や展望などをご説明させていただきます。

（休憩 10 分）

変更

講演２『CNF を配合した漆喰の開発』　　15:15～16:00(45)
高知県立紙産業技術センター　所長　河野　敏夫 氏

漆喰は調湿性や強度、防火性に優れ、白い壁面の美観も高いため、古くから城壁や蔵の壁面などに多く使用されてきました。一方で、手軽に塗布できる反面、ひび割れしやすいという短所があります。特に厚く塗布する場合は何度も薄く塗り重ねる必要があり、施工に時間と手間がかかるという課題がありました。

本報告では、この課題を解決するためにセルロースナノファイバー(CNF)を配合し、強度を向上させることで乾燥時のひび割れを抑制した成果について紹介します。また、本開発に関する知財戦略についても説明いたします。

閉会挨拶　　16:00～16:05(05)